

2020全国教育のつどい

滋賀のレポートに学ぼう

- 日時：8月23日（日）10時～13時
- 10：00～12：00 5つの分科会
- 12：00～13：00 全体で報告 *参加費無料*
- 場所：近江八幡市Gネット（大ホールなど）
- *14時～「みんなで未来をひらく教育を語るつどいオンライン版」の視聴もできます。

コロナ困難の中で始まった2020年度。毎日の実践づくりや子どもとの関わりには、悩みや迷いをたくさん感じます。「本当は大切にしたい」と思うことが後回しになっていることもあります。

昨年度にまとめられたレポートに学び、子どもたちと過ごす毎日の中で大切にしたいことを改めて考え合いましょう。それとともに、今感じている教師としての願いや悩みを語り合いましょう。



思いを語り合える場にしましょう

レポート紹介

- ①「やりたい<ドキドキ>から「やりたい>ドキドキ」に変わるのって？岩倉美希（三雲養護小肢）
やりたいと思ってもドキドキしていた肢体不自由のAくん。その高学年3年間での育ちをまとめました。
- ②Rくんの表出について～5年間の育ちと先生とのやりとりの中で～中野亜希（草津養護小肢重）
24時間人工呼吸器をつけ、自分で動かせるのは目や口元などわずかなRくん。伝えたいと膨らむ思いを育む実践です。
- ③揺れる心に寄り添うには～Tくんの姿から～村木彩乃（草津養護小肢知的低）
子どもの思いと向き合い、本人が考えながら選びとって欲しいと願う授業づくりの楽しさが伝わる実践です。
- ④大人になっていく季節を共に…～17歳、揺れ動く子どもたちの声を聴く～藤本千恵（三雲養護高知的）
ありのままの自分をまるごと認める、しなやかな心の木を育てたい。社会に巣立つ前に、子どもたちと一緒につけていきたい力を考えます。
- ⑤高等部「国語」の表現活動を通して感じたこと藤木いおり（草津養護高等部知軽）
そもそも人なんて信用できない…そんな生徒たちが国語の中で感じていることを表現してくれました。

主催：滋障教（滋賀県障害児学校教職員組合）